

第4学年 国語科学習指導案

1 単元 新美南吉作品のおすすめカードをつくろう

—おすすめカードをつくって、お話のみりよくをしようかいしよう—

【教材名】「ごんぎつね」 【文種】コンパクトに書く特別な形の文種

2 単元設定の理由

○ 児童の興味・関心の実態

本学級の児童は、これまでに「三年とうげ」や「一つの花」の学習では、おもしろいところや心に残った場面をおすすめする言語活動を意欲的に行ってきた。また、「ちいちゃのかげおくり」や「白いぼうし」の学習では、感想を書いたり、自分の考えをまとめたりする言語活動も意欲的に行ってきた。このような言語活動を通して、登場人物の言動や人柄、場面の移り変わり、大きな出来事、言葉の使い方などに目を付けながら、進んで意見の交換をするなど交流活動を行い、自分の読みを深めていった。しかしながら、「おすすめ文」「感想文」を書いたり、自分の考えをまとめたりすることはできるが、自分の文章や考えに対して、自信がなく、自分の課題が解決できるようにするために見直したいと考えている。

○ 児童の能力の実態

「書くこと」については、「新聞を作ろう」の学習で、「学校のよさを調べて、他の学校の4年生に私の学校自慢を新聞で伝えよう」という単元学習で書く活動を行った。インタビューやアンケート調査の仕方、目的や相手に応じた割り付けの工夫、写真や図表の位置や大きさを工夫するという見方・考え方を身に付けてきている。また、「自分の考えをつたえるには」の学習では、書こうとすることの中心を明確にし、目的や必要に応じて理由や事例を挙げて意見文を書き、読み合い交流した。自分の考えをおすすめし合うとき、話合いの観点を意識しつつも、一方通行の発表になっていて、双方向の交流には至っていない。また、お互いの文章を読み合うことには関心があるが、友達の意見を聞いて見方・考え方が広がった、深まったという自覚には至っていない。

○ 単元・教材の価値

本単元は、「新美南吉作品おすすめカードを作ろう」という言語活動を中核とした単元である。これは、次期指導要領第3・4学年読むことの言語活動イ「詩や物語を読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動」を具現化したものである。「おすすめカードを書く」という活動は、叙述あるいは個人の知識や体験と照らし合わせて読む力を身に付ける上で価値ある単元であると考えられる。どこからそのように感じたのか根拠を明らかにして相手に伝えたいことを適切に表現する力を育てることに適している。また、おすすめカードをお互いに交流することによって、一人一人の感じ方の違いを見つけ出すなどの対話が生まれるとともに、他者認識を通して、自己を見つめ直し、思考することでコミュニケーションの能力を高めることにも繋がる。また、伝えたいことと根拠となる叙述や体験の整合性、感じ方の違い、引用と自分の考えの区別、言葉の使い方、改行の必要性を吟味する見方・考え方を活用した対話も多く行われ、自分の考えを広げ、深めることができる。

【学習課題】

おすすめカードをつくって、新美南吉作品のみりよくを、学校みんなにしようかいしよう。

3 単元の見目標

国語への 関心・意欲・態度	○ 叙述に着目して物語を読み、感じたことや考えたことを進んで話し合おうとする。
書く能力	◎ 考えたことが文章に表わされているか見直すとともに、書いたものを発表し合い、意見を伝え合うことができる。 (オ) (カ)
読む能力	◎ 文章を読んで、考えたことを発表し合い、互いの考えの共通点と相違点を考えながら話し合うとともに、一人一人の感じ方の違いに気付くことができる。 (オ) ○ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述をもとに想像して読むことができる。 (ウ) ○ 考えたことが文章に表れているか見直すとともに、書いたものを発表し合い、書き手の考えの明確さなどについての意見を伝え合うことができる。 (エ)
言語についての 知識・理解・技能	○ 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることを理解することができる。 (ア)

4 研究の着眼

《着眼1》文種に応じて、重点化する内容を書く活動に位置づけた学習展開の工夫

本単元で取り扱う文種は、コンパクトに書く特別な形での文種である。本単元ではコンパクトに書く形での特別な文を自分の選んだ「新美南吉作品をおすすめする」文章とする。本単元の「書く」指導で重点化する表現過程は、「交流」「推敲」である。そこで、下記の「書く活動」を設定する。

【交流・推敲の段階】

これまでの学習展開（スタンダードカリキュラム）に新美南吉作品の中から選んだお話をおすすめカード（コンパクトに書く形の特別な文）にして学校の友だちにおすすめする活動を位置付ける。そこで、選んだお話のおすすめカードの書き方を学ぶために、教材（ごんぎつね）と出会わせ、「ごんぎつね」のおすすめカードをつくる。そこで、【交流】の段階では、導入で書いたおすすめカード（一次表現）を見直すポイントを見つけるために、「ごんぎつね」の完成したカードをよりよくなるように工夫したところを説明し合う活動を行う。そして、全体で見直すポイントをまとめるための交流活動を行う。

【推敲】の段階では、見つけた見直すポイント（自分が感じたことなど）をもとに、自分のおすすめカード（一次表現）を見直す活動を行う。

《着眼2》自分の考えを深める、「吟味する活動」の設定

見方・考え方を深めることが自分の考えを深めることになる。そこで、この見方・考え方を深めることができるように、下記の「吟味する活動」を設定する。

① 漠然とした考え（一次表現）を明確にするための見直す観点を見つける活動を行う。

おすすめカード（一次表現）を見直す観点を見つけることができるように、「ごんぎつね」のはじめに書いたおすすめカードと完成したカードを提示しながら、よりよくなるように工夫したところを説明し合う。その後、班、全体で交流し、見直しポイントをまとめる活動を行う。

<(1)ごんぎつねのはじめのカードと完成したカード (2)完成したカードを使って説明し合う活動 (3)班→全体>

②③ 見つけた視点で自分の考え（文章や構成など）を見直し、付加・修正する活動を行う。

見つけた見直しのポイントを使って、一次表現を見直すために、赤で付加・修正などをする活動を行う。

<(1)付箋（青）、自分で選んだ本の一次表現(2)見直しの観点を活用して自力解決を行う場(3)個人>

5 単元の指導計画（総時数14時間）

学 習 活 動	指導上の留意点	評価規準（評価方法）
<p>1 学習をつくり、学習計画を立てる。②</p> <p>(1) これまでに読んだ新美南吉作品の感想を出し合い、学習課題を決める。</p> <p>＜学習課題＞</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>おすすめカードをつくって、新美南吉作品の魅力を、学校のみんなに伝えよう。</p> </div> <p>(2) 新美南吉作品のおすすめカードを書き、学習計画を立てる。【一次表現】</p> <p>2 教材文「ごんぎつね」を読み、お話の魅力をを見つける。⑦</p> <p>(1) 教材文を読み、「ごんぎつね」のはじめのおすすめカードを書く。</p> <p>(2)(3) はじめの場面の話の設定や登場人物の魅力について話し合い、自分が選んだ作品の魅力を見つける。</p> <p>(4)(5) なかの場面の話のとくちょうや登場人物の魅力について話し合い、自分が選んだ作品の魅力を見つける。</p> <p>(6)(7) おわりの場面の話のとくちょうや登場人物の魅力について話し合い、自分が選んだ作品の魅力を見つける。</p> <p>(8) はじめのおすすめカードを見直し、「ごんぎつね」のおすすめカード（完成カード）を書く。</p> <p>3 新美南吉作品のおすすめカードを書き、友だちと交流する。③</p> <p>(1) 「ごんぎつね」の完成カードを交流し、自分が選んだ本のおすすめカード【一次表現】を</p>	<p>○ 「学校みんなの目に付き、新美南吉作品を読みたい」という思いを引き出すことができるように、事前に新美南吉についての資料の掲示、作品コーナーの設置、朝自習での読み聞かせを行う。＜意欲の醸成＞</p> <p>○ 学習課題を設定することができるように、作品の感想や子どもの思いを関係付けて話し合う活動を行う。</p> <p>○ 「さらによくしたい」という意欲を引き出し、学習の見通しをもつことができるように、おすすめカード【一次表現】を書き、学習計画を立てる活動を行う。</p> <p>○ おすすめカードで自分の選んだお話の魅力を伝えるために、教材文「ごんぎつね」と出会让せる。</p> <p>○ 感じ方の違いに気が付くとともに、自分の課題を明確にすることができるように「ごんぎつね」のはじめのおすすめカードを書き、交流する活動を行う。</p> <p>○ 作品の魅力（とくちょうや登場人物の魅力）を見つけるとともに感じ方の違いに気が付くことができるように、心に残ったことをノートにまとめ、自分の考えを交流する活動を行う。</p> <p>○ 話の魅力が伝わるおすすめカードにするために、毎時間、交流によって見つけた新たな魅力を付箋に書き、はじめのカードに貼る活動を行う。</p> <p>○ お話の魅力（とくちょうと登場人物の魅力）を見つけるために、選んだ作品を読み返し、見つけた新たな魅力を付箋に書く活動を行う。</p> <p>○ 魅力が伝わるおすすめカードをつくることができるように新しく見つけた魅力の付箋を活用して書く活動を行う。</p> <p>○ おすすめカードを見直す観点を見つけることができるように、「ごんぎつね」のはじめに書いたおすすめカードと完成したカードを提示しながら、よりよくなるように工夫したところを説明し合</p>	<p>【関】行ってみたい言語活動や必要な言語能力について考え、学習に対する見通しをもっている。（発言、ノート）</p> <p>【読】伝えたいお話の魅力を見つけるために並行読書をしている。（読書の様子）</p> <p>【関】物語に興味をもって範読を聞き、自分なりの感想をもっている。（発言分析、記録分析）</p> <p>【読】登場人物の性格や気持ちの変化、情景などを読み取っている。（発言分析、記録分析）</p> <p>【読】自分の考えの根拠になる部分を詳細に読んでいる。（発言分析）</p> <p>【読】根拠を明確にして話し合い、一人一人の感じ方の違いに気付いている。</p> <p>【書】書いたものを読み返し、よりよい表現になるよう推敲している。</p>

<p>見直す。 【本時】</p> <p>(2) 新美南吉作品のおすすめカードを修正し、清書する。 【二次表現】</p> <p>(3) おすすめカードを交流し、コーナーをつくる。</p> <p>4 これまでの学習を振り返り、学習のまとめをする。 ①</p>	<p>う。その後、全体で見直しのポイントをまとめる活動を行う。</p> <p>○ 見直しポイントで出た見方を活用して、自分のおすすめカードを見直す。</p> <p>○ 人物や事柄、気持ちを表す語句の量を増やすため、類語辞典や言葉のたから箱（教科書巻末資料）を利用し、自分の語彙として身に付けるようにする。（役立ち言葉ファイルの活用）</p> <p>○ 随時、相手・目的を確認できるように、これまでの学習の足跡を掲示しておく。</p> <p>○ コンパクトに書く特別な形の文種で書くよさを実感することができるように、掲示されたおすすめコーナーや学習計画表から、これまでの学習を振り返り、学習のまとめる活動を行う。</p>	<p>【書】書いたものを発表し合い、書き手の考えのよさなどについて意見を述べ合っている。 (発言分析)</p> <p>【言】言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることを理解している。(記録分析)</p>
---	---	--


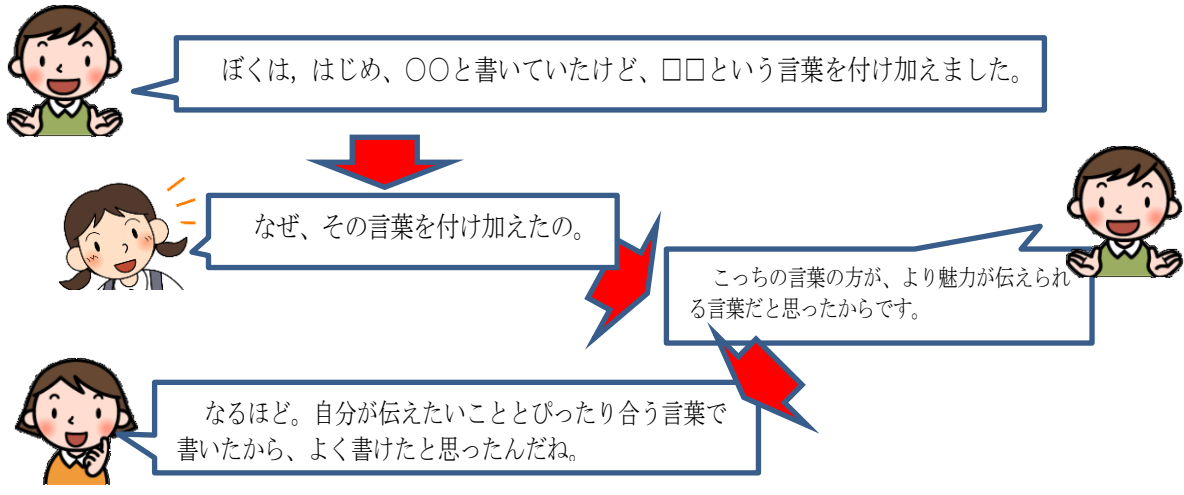
6 本時の学習 (第3次 第1時)

於 多目的室

(1)主 眼 「ごんぎつね」のはじめに書いたおすすめカードと完成したカードを提示しながら、どんなことに気をつけて書いたらよくなったかを説明し合う活動を通して、見直すポイントを見つけて、自分で選んだ本の一次表現を見直すことができるようにする。

(2)準 備 掲示用の挿絵、拡大教材文

(3)展 開

学 習 活 動	○指導・支援上の留意点 ◆評価規準 ★ 特別な教育的支援を要する児童・生徒への特に困難とされる場面での支援のポイント
<p>1 前時の学習を振り返り、本時のめあてを話し合う。</p> <div data-bbox="188 712 406 974">  </div> <div data-bbox="406 712 710 974"> <p>前の学習は、「ごんぎつね」の完成カードを書いたので、今日は、それを交流して、見直すポイントを見つけて作品の魅力が伝わるように、自分のおすすめカードを見直したいです。</p> </div>	<p>◎ 前時まで「ごんぎつね」の見直した完成カードを書いている。本時では、学習の見直しをもてるように、まず、学習のふり返しをし、前時の学習を想起する。そこで、「どんなところに気を付けて書いたらよくなったかを交流し、自分のおすすめカードを見直そう。」というめあてをもつことができるように学習計画と前時の課題をつなぐ話し合い活動を設定する。</p>
<p><めあて> どんなところに気を付けて書いたらよくなったかを交流し、 自分のおすすめカードを見直そう。</p>	
<p>2 「ごんぎつね」の完成したおすすめカードをグループで交流し、学級全体で感想を出し合う。</p>	<p>◎ 「ごんぎつね」のはじめに書いたおすすめカードと完成カードを提示しながら、どんなことに気をつけて書いたらよくなったかを説明し合う活動を行う。</p>
<p>① 自分の考え(ごんぎつねのおすすめカード)を小グループで交流する。(3人～4人グループ) 【よりよくなるようにくふうしたところを説明し合い、見直しのポイントを見つける場面】</p> <div data-bbox="199 1467 1388 1960">  </div>	

② どんなところに気を付けたらよくなったか（「見直しポイント」）について全体で話し合う。

○ 「何に魅力を感じたか」が書かれている。

→（登場人物の性格、会話、気持ちの変化、行動、関係、出来事、物語のとくちょうなど）

○ 「その魅力はどこから分かるものか（根拠）」が書かれている。

→（登場人物の性格、会話、気持ちの変化、行動、関係、出来事、物語のとくちょうなど）

○ 「自分はその本を読んでどう感じたのか。」が書かれている。

3. 新美南吉作品のお話の魅力が伝わるように、選んだ作品を読み返し、上記で見付けたポイントで自分のおすすめカードを見直す。（自力解決）

○ おすすめカードを見直す観点を見つけることができるように、どんなところに気を付けたらよくなったかを出し合い、見直しのポイントとしてまとめる話し合い活動を行う。

○ 交流で見付けた新たな視点（見直しの観点）を活用して、自分の選んだ本や本に貼っている付箋を読み返したり、一次表現に赤を入れたりして、魅力が伝わるカードになるように推敲する。

◆【書】 自分が書いたおすすめカードを見直し、改善点を見つけている。

★ 特別な支援を要する児童には、どの観点で見直したらよいか観点を一つ選ぶようにして、これまで書いた魅力を書いた付箋を読み直したり、本を読み返したりしながら、一次表現に赤を入れるように個別に声をかける。

★ 更に支援の必要な児童には、教師が選んだ観점에서、付箋を読み返して書く内容を選んだり、一次表現に赤を入れたりすることを一緒に行う。

4 本時の学習を振り返り、学習のまとめ、次時の学習について話し合う。



ごんぎつねで、自分の伝えたい魅力が書けていました。友達のおすすめカードもいいなと思いました。みんなで出し合った見直しポイントで、自分のおすすめカードを書き直して、清書したいです。